

今日のトピック 良好な内容だった米国の雇用統計 (2018年7月)

失業率は低下、雇用者数、賃金は緩やかに増加

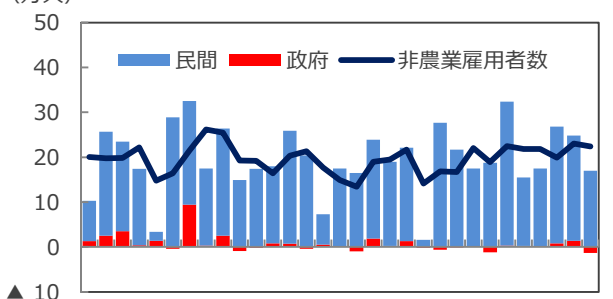
ポイント1 雇用者数は15.7万人増 雇用の基調は強い

- 2018年7月の非農業部門雇用者数は、前月比15.7万人の増加となりました。
- ブルームバーグ集計による市場予想の同19.3万人増には届きませんでしたが、過去2カ月の雇用者数が合計で5.9万人ほど上方修正されたことを踏まえると、実質的には上振れだったと判断されます。
- 月毎の振れを均すため、3カ月移動平均をとると、同22.4万人増となります。雇用情勢は極めて良好といっても、差し支えないでしょう。

ポイント2 失業率は低下 賃金は引き続き緩やかな増加

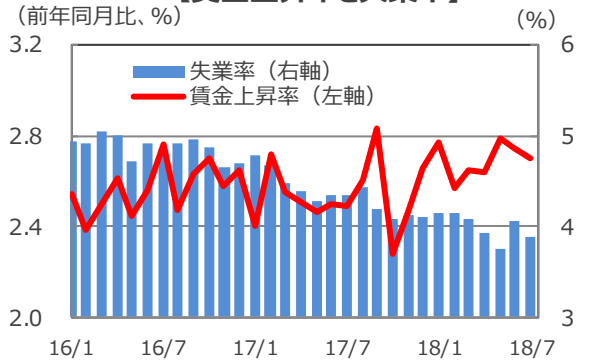
- 失業率は前月の4.0%から3.9%に低下しました。労働力人口(労働供給)は増えましたが、それを上回るペースで就業者数(労働需要)が増えたためです。
- 一方、賃金は前月比0.3%増、前年同月比では2.7%の増加となりました。失業率の低下が示す通り労働需給は引き締まってきています。今後も賃金は、増加を続ける見込みです。

【非農業雇用者数の推移(前月比増減)】



▲ 10
(注) データは2016年1月~2018年7月。
非農業雇用者数は3カ月移動平均ベース。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【賃金上昇率と失業率】



(注) データは2016年1月~2018年7月。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 米連邦準備制度理事会 (FRB) は漸進的な利上げを継続へ

- 雇用統計が公表された8月3日の米国市場では、7月の雇用者数や、同月のISM非製造業指数が市場予想を下回ったこと等から、債券利回りが低下(債券価格は上昇)しました。一方、株式市場は、同月の雇用統計を、「労働市場の安定を示すものであり、FRBの漸進的な利上げ方針と整合的な内容」と評価。よって株価は、上昇しました。
- 米景気・雇用が順調に拡大しているため、FRBは今後も継続的に政策金利を引き上げていくと予想されます。利上げの着地点としては、中立金利(景気を刺激も抑制もしない金利の水準)とみなされる3%が、ひとつの目処になると考えられます。FRBは、この3%に向けて、四半期に1回程度の緩やかなペースで利上げを進める見通しです。

ここもチェック! 2018年8月 2日 米国の金融政策は現状維持 (2018年8月) 2018年7月30日 急加速した米国のGDP成長率 (2018年4-6月期速報値)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。